

# 気賀っ子応援団

～気賀小コミュニティ・スクールだより～

第11号 令和6年2月

気賀っ子応援団への御協力ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の5類移行後、今まで以上に充実した活動を行うことができた一年でした。

昨年までと同様、ボランティアさんに入っただけ活動に加え、講師の先生による講座を開いていただく機会も増えました。気賀、細江の人材の層の厚さをあらためて実感しました。

来年度もより一層、地域と学校が一体化した活動ができるよう、皆様の御支援と御協力をお願いいたします。

新規のボランティア募集も行っていますので、皆様で声を掛け合って、気賀っ子を応援する一員になってみませんか？



1月29日 150周年ありがとう集会

## 2. 3. 4年. 発達：マット運動・跳び箱



## 1. 5. 6年：走り方講座



1年：どんぐりのおもち作り

3年：まちたんけん



5年：しめ縄講座



発達：講座「身近な素材で遊ぼう」「英語で遊ぼう」



## 新しい時代へ

校長 齊藤昌長

5月に新型コロナウイルスが5類に移行し、学校の教育活動の制限がなくなりました。しかし、この3年間に失ったもの、変化を余儀なくされたものがあります。社会情勢や人々の考え方が大きく変わり、全てをコロナ前に戻すことはできません。来年度の教育課程を編成していますが、気賀小が目指す子供の姿に向かって、教育活動の充実と精選をしていきます。

6月のCS便りで「『アフター・コロナ』のCSの在り方を模索しながら、活動の質を高め、持続可能なものにしていきたい」と書かせていただきました。学校運営協議会の委員の方々や学習支援コーディネーターの方々、学校のCS担当のおかげで、地域の方々に授業に入っていただくことができました。お陰様で学びが充実し、**見える学力**が確実に身に付いてきていると感じています。さらに、定期的に学校に足を運んでくださるボランティアの方々との関わりを通して、安心して学習に臨むことができます。また、多くの人たちと関わることで人間関係力を高めることができます。これによって、子供たちは学習に集中して取り組む姿勢、**見えない学力**を高めることができます。本年度はこの2つの学力が高まったと実感することができました。CSを支えるのは人です。人から学ぶ機会をこれからも充実させたいと思います。

地域の方々と保護者、教職員、子供たちが気賀小という場所で、10、20年後の社会を支える人材を自らの手で育てていかなければなりません。そのために、これまでの教育活動を変えていくことも必要になります。どのように変えていくのかを共に考え、地域と学校をつなげるのがCSです。前述の4者が思いを一つにして、創立150周年を超えて、次の時代の気賀小を創っていきたく思います。